

THE STATE OF THE WORLD'S CHILDREN 2011  
世界子供白書2011

THE STATE OF THE WORLD'S CHILDREN 2011



青少年期(10代) 可能性に満ちた世代

青少年期(10代)  
可能性に満ちた世代

unicef 

unicef 

unite for  
children

unicef 

世界子供白書 2011  
英語版 2011年2月発行  
日本語版 2011年6月発行

著 : ユニセフ (国連児童基金)  
訳 : 公益財団法人 日本ユニセフ協会 広報室  
発行 : 公益財団法人 日本ユニセフ協会 (ユニセフ日本委員会)  
〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス  
(電話) 03-5789-2016 (FAX) 03-5789-2036  
ホームページ : www.unicef.or.jp  
印刷 : (株) 第一印刷所

The State of the World's Children  
© United Nations Children's Fund (UNICEF)  
February 2011

UNICEF, UNICEF House, 3 UN Plaza,  
New York, NY 10017, USA  
ウェブサイト: www.unicef.org (ユニセフ本部)

この白書は国連児童基金(ユニセフ)が2011年2月に発表し、  
(公財)日本ユニセフ協会が翻訳したものです。  
文中の役職名、肩書き等は本書(英語版)編集時のものです。  
本書の無断転載・複製はお断りします。  
転載をご希望の場合は、(公財)日本ユニセフ協会 広報室まで  
お問い合わせください。

## 写真クレジット

### 各章の見開き写真

Chapter 1: © UNICEF/NYHQ2009-2036/Sweeting  
Chapter 2: © UNICEF/BANA2006-01124/Munni  
Chapter 3: © UNICEF/NYHQ2009-2183/Pires  
Chapter 4: © UNICEF/MLIA2009-00317/Dicko

### 第1章- (p 2-15) \*

© UNICEF/NYHQ2009-1811/Markisz  
© UNICEF/NYHQ2009-1416/Markisz  
© UNICEF/NYHQ2010-0260/Noorani  
© UNICEF/NYHQ2007-0359/Thomas  
© UNICEF/PAKA2008-1423/Pirozzi  
© UNICEF/NYHQ2009-0970/Caleo  
© UNICEF/MENA00992/Pirozzi

### 第2章 - (p 18-38) \*

© UNICEF/NYHQ2009-2213/Khemka  
© UNICEF/NYHQ2009-2297/Holt  
© UNICEF México/Beláustegui

### 第3章- (p 42-59) \*

© UNICEF/NYHQ2005-2242/Pirozzi  
© UNICEF/NYHQ2005-1781/Pirozzi  
© UNICEF/NYHQ2006-2506/Pirozzi  
© UNICEF/NYHQ2006-1440/Bito  
© UNICEF/AFGA2009-00958/Noorani  
© UNICEF/NYHQ2009-1021/Noorani  
© UNICEF/NYHQ2004-0739/Holmes

### 第4章 - (p 62-77) \*

© UNICEF/NYHQ2007-1753/Nesbitt  
© UNICEF/NYHQ2004-1027/Pirozzi  
© UNICEF/NYHQ2008-0573/Dean  
© UNICEF/NYHQ2005-1809/Pirozzi  
© US Fund for UNICEF/Discover the Journey  
© UNICEF/NYHQ2007-2482/Noorani  
© UNICEF/NYHQ2006-0725/Brioni

\*上記の写真クレジットには「視点」、「青少年の声」、「テ  
クノロジー」 パネルに掲載されているものは含まれていま  
せん。



## ユニセフ本部と地域事務所

### ユニセフ本部

**UNICEF Headquarters**  
UNICEF House  
3 United Nations Plaza  
New York, NY 10017, USA

### ヨーロッパ地域事務所

**UNICEF Regional Office for Europe**  
Palais des Nations  
CH-1211 Geneva 10, Switzerland

### 中部・東部ヨーロッパ、独立国家共同体 地域事務所

**UNICEF Central and Eastern Europe/  
Commonwealth of Independent  
States Regional Office**  
Palais des Nations  
CH-1211 Geneva 10, Switzerland

### 東部・南部アフリカ地域事務所

**UNICEF Eastern and Southern Africa  
Regional Office**  
P.O. Box 44145  
Nairobi 00100, Kenya

### 西部・中部アフリカ地域事務所

**UNICEF West and Central Africa  
Regional Office**  
P.O. Box 29720 Yoff  
Dakar, Senegal

### 米州・カリブ諸国地域事務所

**UNICEF The Americas and Caribbean  
Regional Office**  
Avenida Morse  
Ciudad del Saber Clayton  
Edificio #102  
Apartado 0843-03045  
Panama City, Panama

### 東アジア・太平洋諸国地域事務所

**UNICEF East Asia and the Pacific  
Regional Office**  
P.O. Box 2-154  
19 Phra Atit Road  
Bangkok 10200, Thailand

### 中東・北アフリカ地域事務所

**UNICEF Middle East and North Africa  
Regional Office**  
P.O. Box 1551  
Amman 11821, Jordan

### 南アジア地域事務所

**UNICEF South Asia Regional Office**  
P.O. Box 5815  
Lekhnath Marg  
Kathmandu, Nepal

ウェブサイト :  
**www.unicef.org (ユニセフ本部)**

**世界子供白書  
2011**

**THE STATE OF THE  
WORLD'S CHILDREN  
2011**

# 謝辞

本書の制作は、ユニセフ内外の多くの人々からの助言と貢献によって可能となった。各国のパネルに関して重要な貢献を行ってくれたのは、次の国・地域のユニセフ現地事務所である。(英語名のアルファベット順)：コートジボワール、エチオピア、ハイチ、インド、ヨルダン、メキシコ、フィリピン、ウクライナとユニセフ米国内委員会。情報・意見はユニセフの各地域事務所、世界保健機関の青少年保健育成チームからも寄せられた。ユニセフ青少年育成参加ユニットからの助言や支援にもまた深く感謝したい。そして、本書やウェブサイトの引用で、またそこへの諸投稿で協力してくれた世界の青少年たちに感謝する。

世界子供白書2011には、今日、青少年が直面している保護、教育、保健、参加の領域での目に見える課題に対して、様々な関係者グループの大人と青少年からそれぞれの視点を提供してもらった。また、本書に登場願った方々にも心より謝意を述べるものである。すなわち、His Excellency Mr. Anote Tong, President of the Republic of Kiribati; Her Royal Highness Princess Mathilde of Belgium; Her Highness Sheikha Mozah bint Nasser Al Missned; Emmanuel Adebayor; Saeda Almatari; Regynnah Awino; Meenakshi Dunga; Lara Dutta; Maria Eitel; Brenda Garcia; Urs Gasser; Nyaradzayi Gumbonzvanda; Colin Maclay; Cian McLeod; Paolo Najera; John Palfrey; Aown Shahzad; Maria Sharapova。これらのエッセイは「視点」の全文シリーズの抜粋であり、全文は以下で入手可能である。(www.unicef.org/sowc2011)

また、Ayman Abulaban; Gloria Adutwum; Rita Azar; Gerrit Beger; Tina Bille; Soha Bsot Boustani; Marissa Buckanoff; Abubakar Dungus; Abdel Rahman Ghandour; Omar Gharzeddine; Shazia Hassan; Carmen Higa; Donna Hoerder; Aristide Horugavye; Oksana Leshchenko; Isabelle Marneffe; Francesca Montini; Jussi Ojutkangas; Arturo Romboliにおいては、「視点」のエッセイ・シリーズと「テクノロジー」パネルへの力添えに特別の謝意を表す。また、世界保健機関 (WHO)・青少年保健育成チームの Meena Cabral de Mello による青少年のメンタル・ヘルスについての助言にも感謝を述べたい。

## 編集・調査

David Anthony (編集担当); Chris Brazier (主任ライター); Marilia Di Noia; Hirut Gebre-Egziabher; Anna Grojec; Carol Holmes; Tina Johnson; Robert Lehrman; Céline Little; Charlotte Maitre; Meedan Mekonnen; Kristin Moehlmann; Baishalee Nayak; Arati Rao; Anne Santiago; Shobana Shankar; Julia Szczuka; Jordan Tamagni; Judith Yemane

## 制作・頒布

Jaclyn Tierney (制作担当); Edward Ying, Jr.; Germain Ake; Fanuel Endalew; Eki Kairupan; Farid Rashid; Elias Salem

## 翻訳

フランス語版: Marc Chalamet  
スペイン語版: Carlos Perellón

## メディア・アウトリーチ

Christopher de Bono; Kathryn Donovan; Erica Falkenstein; Janine Kandel; Céline Little; Lorna O'Hanlon

## インターネット放映・画像

Stephen Cassidy; Matthew Cortellesi; Keith Musselman; Ellen Tolmie; Tanya Turkovich

## デザイン・版下作成

Prographics, Inc.

## 統計表

Tessa Wardlaw (政策実行局 統計・モニタリング課・局長補); Priscilla Akwara; David Brown; Danielle Burke; Xiaodong Cai; Claudia Cappa; Liliana Carvajal; Archana Dwivedi; Anne Genereaux; Rouslan Karimov; Rolf Luyendijk; Nyein Nyein Lwin; Colleen Murray; Holly Newby; Elizabeth Hom-Phathanathai; Khin Wityee Oo; Danzhen You

## プログラム・政策・コミュニケーションガイダンス

ユニセフプログラム局、政策実行局、イノチェンティ研究センター。特に次の方々に感謝を表す：Saad Houry (副事務局長); Hilde Frafjord Johnson (副事務局長); Nicholas Alipui (プログラム局・局長); Richard Morgan (政策実行局・局長); Khaled Mansour (コミュニケーション局・局長); Maniza Zaman (プログラム局・副局長); Dan Rohrmann (プログラム局・副局長); Susan Bissell (プログラム局・局長補); Rina Gill (政策実行局・局長補); Wivina Belmonte (コミュニケーション局・副局長); Catherine Langevin-Falcon; Naseem Awl; Paula Claycomb; Beatrice Duncan; Vidar Ekehaug; Maria Cristina Gallegos; Victor Karunan; Mima Perisic

## 印刷

Hatteras Press

# まえがき

「2050年にあなたは何歳になっていますか。」昨年、ボンで開かれていた国連気候変動会議において、1人の若い女性からの代表団への問いかけによって大きな衝撃が走った。

聴衆は拍手喝采した。翌日、何百人という代表団たちは、揃ってその質問が描かれたTシャツを着用した。その中には、2050年には110歳になり、自分たちはわれわれの不作為の結果を生きて見ることはないであろうと認めた議長もいた。この若い女性のメッセージは明白だ。今後、彼女がどのような世界に住むことになるかは、それを受け継ぐ者とそれを遺す者の両方にかかっている。

『世界子供白書2011』は、この根源的な洞察に同意し、それを元に築かれている。今日12億人の青少年たち(Adolescents)が、子ども時代とおとなの世界の試練に満ちた分岐点に立っている。こうした若者の10人中9人が開発途上国に暮らし、特に深刻な試練—教育を受けることからただ生き続けることまで—少女や若い女性たちにとっては、さらに大きな課題に直面している。

子どもの生命を救うための地球規模の取り組みの中で、ティーンエイジャーのことは、ほとんど耳にすることがない。5歳未満の子どもたちへの脅威の大きさを考えれば、そこに資金を集中させることは理にかなっており、またそうした取り組みの結果、目覚ましい成果も得られてきた。この20年間で、予防可能な原因によって日々命を落としている5歳未満の子どもの数は、1990年の3万4,000人から2009年には約2万2,000人と、3分の1削減された。

だが、こういうこともある。ブラジルでは1998年から2008年の間に乳児死亡率が低下した結果、2万6,000人の子どもたちの命が救われた。ところが、同じ10年の間に8万1,000人の15～19歳のブラジル人の青少年が殺害された。人生最初の10年間で救った子どもたちの命が、その後の10年間でむぎむぎと失われるなど、断じてあってはならないのだ。

本書では、10代の子ども・若者たちが直面するさまざまな危険を、痛ましいほどに詳しく特集している。毎年40万人が命を落とすさまざまな不慮の傷害、ティーンエイジャーの少女たちの主な死亡原因である早すぎる妊娠と

出産、7,000万人もの若者の就学を妨げるさまざまな圧力、搾取、激しい紛争、そして最も悪質な、おとなたちの手による虐待。

また、すでに多くの開発途上国において、その増大する影響が多くの子供たちの健康とやすらぎをむしばんでいく気候変動などの新たな問題、若い人々の間に広がる深刻な雇用機会の不足という労働の動向、それは特にこうした貧しい国々においてそうであるのだが、そうしたことによって引き起こされるリスクについても、考察している。

青少年期(Adolescence)という時期は、脆弱さばかりからなるのではない。さまざまな可能性に満ちた時期でもある。とりわけこの世代の少女たちにとってはまさにそうである。より多くの教育を受けた女子ほど結婚と育児を先に延ばす可能性が高いこと、そしてその子どもたちがより健康で、より多くの教育を受ける可能性が高いことがわかっている。すべての若者に自分の生活を向上させるために必要なツールを与え、自分たちのコミュニティを改善する取り組みに参加させることは、彼らが生きる社会がより強固となるよう、投資していることになるのだ。

豊富な具体例を通じて、『世界子供白書2011』では、持続可能な進歩が実現できることを明らかにする。また最近の研究に照らせば、最も手を差し伸べることが難しい地域に住む、最も貧しい子どもたちにまず注目することで、もっと迅速に、より費用対効果の高い方法での進展が可能であることを示している。公平性に焦点を合わせることで、10代を含むすべての子どもたちを支援することができる。

これ以上時間をかけているわけにはいかない。今この瞬間にもアフリカでは、ティーンエイジャーの少女がなんとか教室に座るためだけに、非常に大きな犠牲を強いられている。ほかにも、強制的に仲間引き込もうとする武装集団から必死に逃げようとしている少年がいる。南アジアでは出産を迎える日をたったひとりで恐怖におののきながら待っている妊娠中の若い女性がいる。

ボンで問いを投げかけた若い女性は、何百万人もの若い人々とともに、回答だけでなく、われわれ全員によるもっと大きな行動の実践を待っている。



© UNICEF/NYHQ2010-0697/Markisz

アンソニー・レーク  
ユニセフ事務局長

# 目次

謝辞	ii
----	----

まえがき	iii
アンソニー・レーク、ユニセフ事務局長	

## 1 新興の世代

青少年期の定義の複雑さ	8
国際舞台における青少年と青少年期	10

## 2 青少年の権利の実現

青少年期の健康	19
生存および健康一般のリスク	19
栄養状態	21
リプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）	22
HIVおよびエイズ	24
青少年に優しい保健サービス	26
青少年期の教育	26
青少年期のジェンダーと保護	31
暴力と虐待	31
青少年の結婚	33
女性性器切除 / カutting (FGM/C)	33
児童労働	33
ジェンダーと保護に関する取り組み	33

## 3 青少年の世界的な課題

気候変動と環境	42
貧困、失業、グローバル化	45
少年犯罪と暴力	52
紛争と緊急事態	57

## 4 青少年への投資

データ収集と分析の向上	63
教育とトレーニングへの投資	64
若者参加の仕組みの制度化	68
支援的な環境	71
貧困と不公平性への取り組み	72
青少年のための協働	76

## パネル

### 国

ハイチ：若者たちと力を合わせ、より良い国を目指して復興	5
ヨルダン：若者のために生産的な仕事を確保する	13
インド：世界最大の10代の女子人口を擁する国のリスクと機会	23
エチオピア：青少年が向き合うジェンダー・貧困・課題	35
メキシコ：同伴者のいない青少年の移民を保護する	39
ウクライナ：脆弱な子どもたちを保護する環境を創る	44
フィリピン：青少年の参加の権利を強化する	48
米国：キャンパスでのイニシアティブ カレッジや大学で、子どもたちの権利をアドボケート	73
コートジボワール：暴力的紛争と青少年の脆弱さ	77

### テクノロジー

デジタル・ネイティブと、橋を架けるべき3つの分水嶺、 ジョン・パルフリー、ウルス・ガッサー、コリン・マックレー、 ゲリット・ベガー	14
若者と携帯電話と青少年の権利、グラハム・ブラウン	36
若者のためのデジタル・セーフティ： 情報の収集、新しいモデルの創造、既存の取り組みの把握、 コリン・マックレー、ゲリット・ベガー、ウルス・ガッサー、 ジョン・パルフリー	50
マップ・キベラ・プロジェクトとレジーナが得たエンパワーメント、 レジーナ・アウィノとマップ・キベラ	70

### 特集

早期青少年期と後期青少年期	6
青少年の人口動向：10の事実	20
青少年のメンタル・ヘルス（精神的な健康）： 調査と投資を要する緊急課題	27
富裕国における幼少期および青少年期の不公平性— ユニセフ・イノチェンティ研究所報告書 『レポートカード9：取り残された子どもたち』	30
移民と子どもたち：早急の対応が求められる理由	56
到来する成人期とシティズンシップ（市民性）への心構えを 青少年に	66
青少年期の少女たちと共に働く：国連青少年期女子タスクフォース (The United Nations Adolescent Girls Task Force)	75

## エッセイ

### 視点

ベルギー王国マチルド皇太子妃殿下 おとなの責任：青少年たちの声に耳を傾けること	9
ニャラザイ・グンボンスヴァンダ 困難に挑む：HIV陽性の青少年たちのリプロダクティブ・ヘルス (性と生殖に関する健康)	28
マリア・シャラボワ チェルノブイリから25年： 災害の中の子どもたちを思い出して	38

# 青少年期(10代):可能性に満ちた世代

## キリバス共和国アノテ・トン大統領

キリバスにおける気候変動の影響：  
青少年にとっての目に見える脅威…………… 47

## エマニュエル・アデバヨール

スポーツを通じたアドボカシー：  
若者の間のHIVの感染拡大を止める…………… 54

## シェイハ・モーザ・ビント・ナーセル・アル・ミスナド妃

青少年の潜在能力を解放つ：  
中東・北アフリカ地域における教育改革…………… 58

## ララ・ダッタ

それぞれの務めを果たすこと：  
青少年に対するマスメディアの責任…………… 69

## マリア・エイテル

青少年期にある少女たち：あなたにできる最高の投資…………… 74

## 青少年の声

### バオロ・ナヘラ、17歳、コスタリカ

炎を絶やささない：  
先住民の青少年たちの教育と保健サービスへの権利…………… 11

### ミーナクシ・ドゥンガ、16歳、インド

責任ある行動を：  
私たちの地球が再び健康を取り戻せるように世話をしよう…………… 32

### ブレンダ・ガルシア、17歳、メキシコ

ティファナを取り戻す：麻薬がらみの暴力に終止符を…………… 53

### シアン・マクロード、17歳、アイルランド

公平性を追求する：  
ザンビアにおける取り残された青少年たちの考察…………… 57

### サエダ・アルマタリ、16歳、ヨルダン/米国

現実とかけ離れたメディアイメージ：  
青少年期の少女たちにとっての危うさ…………… 65

### シェド・アウン・シャハザード、16歳、パキスタン

被害者から活動家へ：  
パキスタンの子どもたちと気候変動の影響…………… 76



2.1 地域別の青少年人口(10~19歳)、2009年…………… 20

2.2 青少年人口の動向、1950~2050年…………… 20

2.3 貧血は、サハラ以南アフリカおよび南アジアの少女たち  
(15~19歳)にとって重大なリスクである…………… 21

2.4 低体重は、サハラ以南アフリカおよび南アジアの少女たち  
(15~19歳)にとって主要なリスクである…………… 21

2.5 後期青少年期(15~19歳)の男性は、同じ年齢層の  
女性と比べてよりリスクの高い性交渉を持つ可能性が  
高い…………… 24

2.6 後期青少年期(15~19歳)の女性の方が、同年齢層の  
男性よりもHIV検査を受けて結果を受け取る可能性が  
高い…………… 25

2.7 入手可能な属性別データに基づく、  
各国における初婚年齢…………… 34

3.1 気候変動に関する主要な国際ユース・フォーラムを表す  
言葉…………… 45

3.2 若者の失業の世界的な傾向…………… 46

出典・参考文献等…………… 78

統計…………… 81

5歳未満児死亡率の順位…………… 87

表1. 基本統計…………… 88

表2. 栄養指標…………… 92

表3. 保健指標…………… 96

表4. HIV/エイズ指標…………… 100

表5. 教育指標…………… 104

表6. 人口統計指標…………… 108

表7. 経済指標…………… 112

表8. 女性指標…………… 116

表9. 子どもの保護指標…………… 120

表10. 前進の速度…………… 126

表11. 青少年指標…………… 130

表12. 公平性指標…………… 134